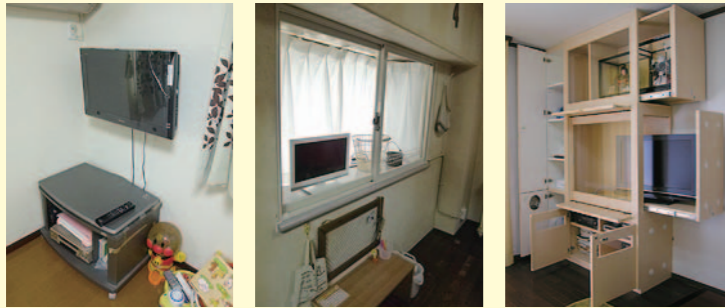


↑ 改造をした時はチャンス！ 生活ルールも一緒に考えよう！

テレビ



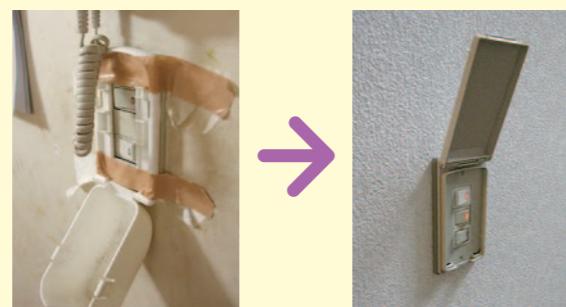
テレビを叩いたり、落としたりすることにより、子どもがケガをすることを防ぐために、そして高価なテレビを守るために、テレビを壁や天井に固定したり、テレビ自体を収納することを考えます。テレビを見る時間や場所を決めるなどのルールづくりも一緒に考えましょう。

収納



インターホンやエアコンのリモコン類をまとめて壁面に収納することもできます。

スイッチ



カバー付きのスイッチプレートに交換するだけで、何度も押す行動を防げる場合もあります。

カーテン



カーテンの吊り元をマジックテープに変更することで引っ張っても破れることを防げます。

プレイルーム



天井にフック等を取り付けることで、自宅でもハンモックなどの遊具を使った遊びができます。

音の問題



マンションなどで走り回ったり飛び跳ねる音は、近隣からの苦情の原因になりかねません。防音工事も技術的には可能ですが、費用が非常に高額になるだけでなく、効果がそれほど期待できない場合もあります。まずは、飛び跳ねても良い時間や場所を決めましょう。そして少しずつ、その音を減らすことや止めさせる工夫を支援者と一緒に相談しながら考えていきましょう。

住まいの 安全対策 ガイドブック

知的・発達障害 編



知的・発達障害のある人々の在宅生活において、自発的かつ社会的な行動を確保するためには、安全を最優先に考え、分かりやすい空間にすることが第一だと考えています。このガイドブックには、カギや柵などの工夫を多数紹介しています。

無断外出を予防しよう！

玄関

両面シリンダー錠に変更することが最も有効。
賃貸住宅等の場合は、リモコン式の電気錠がオススメ。



玄関からの無断外出に対して、様々な工夫をされているご家族も多いですが、カギが増えると手間も増えて、とても面倒です。

玄関錠の内側も外側も同じキーで施錠や開錠ができるようにします（両面シリンダー錠と呼びます）。キーの管理を徹底しましょう。賃貸住宅等でカギの交換ができない場合は、工事が不要なリモコン式の電気錠を選択するとよいでしょう。

窓

子どもの特徴に合わせてクレセントを選ぼう。
換気や通風まで考える場合は、格子戸が望ましいです。



窓のカギ（クレセント）や防犯用の補助錠は簡単に開けられたり外されたりします。

クレセントは、ダイヤル式やキー付きなどの種類があります。子どもの特徴（数字が好きな場合はダイヤル式は不適応）に合わせてクレセントを交換しましょう。



部屋の換気や通風を考えると、クレセントを交換して窓を閉め切るよりも格子戸を設置する方が望ましいでしょう。

屋外側に面格子を設置する場合がありますが、窓枠に登らないようにするために、屋内側に面格子（開閉式）を設置することも可能です。

火事や地震など避難時のことを考えてカギの管理は徹底しましょう。

台所はルールを守る場所！

エリア分け

ベビーゲートやベビーロックの対象年齢は2歳まで！
台所には扉などをつけてきちんとエリアを分けましょう！



子どもの行動管理、親のストレス軽減など、エリア分けの効果は抜群です。

階段から落ちないように！

